

日本精神科医学会 認定栄養士 更新 事例報告書

例

認定番号	氏名	施設名	事例区分
****	○× △□	医療法人 ○○会 △△病院	④部門管理

<概要>

当院は○○○床の精神科単科病院で、給食は直営で運営しているが、昨今の世界情勢から食材高騰や光熱費の高騰により給食運営が赤字へ転換してしまった。さらに、団塊ジュニア世代の職員の退職に伴い新人採用計画がうまくいかず人手不足となり、委託を検討するか、直営を維持するために新調理システム等の導入や人材派遣、外国人の雇用など、多方面から検討を加えていかなければ給食運営に破綻をきたす状況である。

<目的>

赤字に転換してしまった給食運営を検討し、健全な経営に立て直すため、運営方法を検討し改善することを目的とした。

<事例提示>

委託会社の入札を複数社に提案したところほとんどの業者から断られてしまい、1社のみ入札に参加したが、当院の要望を入れると委託料が高額になり、直営側の管理栄養士の経費を加えると現在よりも赤字幅が膨らむ結果となったため委託は断念した。そのため、新調理システム等を駆使して直営で運営していくことを前提に改善に向けて検討することとなった。

そこで、新調理システムの先駆的な取り組みをしているA病院の見学や職員不足の対策にシルバー人材を活用して運営しているB病院を見学し当院での導入の可否を検討した。

<原因>

このような状況に至った原因としては、世界的な食糧不足により、食材の値上がりが続き給食経営が厳しい状況になった事に加え、団塊ジュニア世代の大量退職により人員不足となり、募集を行っても若い調理師の確保ができなかったことで、給食経営をさらに悪化させたことが考えられる。

人員確保できない大きな原因に朝食提供のための早出勤務があること、365日の職場のため休日がランダムで日曜日や盆暮れ正月・連休に休みにくいことが若手職員の採用の障害となったことも考えられた。

<改善方法>

新調理システム導入には厨房改築が必要なため、最低限の現状の調理機器で可能になるよう、購入した食材でクックフリーズとクックチルを併用し作業量を減らすこととした。

人手の少ない朝食は新調理システムで完全調理済み食品も活用し少人数で運営できるようにした。また、休日確保のため院内クックチルを一部導入し日曜日の作業を減少させ、交代で休日が取得できるよう改善した。

野菜、肉、魚などはカットシステムで納入業者にカット工程を依頼して納入をお願いした。

配膳にはシルバー人材を複数名活用し、1回の勤務時間を短くして1週間の勤務回数も少なくし、高齢者でも無理なく働ける体制をとり、業務をルーチン化し常に同じ作業で業務出来るよう工夫した。日々変化する調理作業は現在いる調理師を中心に行うこととした。

外国人雇用については言葉の問題から今後の検討事項とした。人材派遣業社からの派遣については時給が高額になり経費削減には向かないため検討外とした。

人手不足から調理作業や配膳に駆り出されていた管理栄養士は、配膳作業から解放された時間を栄養管理と栄養指導に充てることができ、人員補充なしに給食外収入のアップにつながることができた。

事例文字数 1,927字

<結果>

職員数は現行より少ない人数で運営が可能となった。シルバー人材の登録者が増えロッカー等の設備が必要にはなったが、シルバー人材のメンバー募集は行政側の窓口で対応してもらえるため、病院における人材確保の負担と経費は削減できた。

食材費は今までより上昇してしまっただが、作業量が減少したことで常勤調理師は削減でき、シルバー人材メンバーによりワークシェアすることでトータル的に人件費抑制につながった。

食材をカットや完全調理済みにすることで、上下水道の経費は2割減となり、ガス代・電気代も値上がり分を考慮しても減少に転じた。また、野菜等処理が減り残菜が減少したことでごみ処理費も減少した。

総合的に赤字から脱却し、わずかながら黒字へ転換できた。

<考察>

食材費の高騰や人手不足を個別に考え対応していた時は改善策が見えてこなかったが、給食運営を全体で考えトータルマネジメントすることで活路を見いだせたと考える。

シルバー人材を活用することで、高齢者の雇用促進に対しても貢献ができたと考える。また、短時間勤務であるが食事時間にかかるためシルバー人材メンバーに食事を提供することで、高齢者のフレイル予防や閉じこもり改善にも寄与していると考ええる。

<今後の課題>

今後は新調理システムの勉強会を行い、さらに業務を整理していき今後の人材不足に対応できるよう最低限の職員で最高のパフォーマンスを発揮できるよう研鑽を積むことが必要と考える。

シルバー人材は高齢者ということで突然のリタイアも考えられるため、余裕を持った配置を行い常にシルバー人材センターと連携を密にして欠員が出ないような配慮を行う必要があると考える。